

宇都宮市土地開発公社 中期経営計画評価表（平成27年度実績）

平成28年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市旭1丁目1番5号		設立年月	昭和49年6月	
市所管課	理財部 用地課		代表者	理事長 羽石 潔	
ホームページアドレス	http://shinoi.com/				
基本財産（資本金）	10,000千円	主な出資者		出資額	出資割合
		—		—	—
	市出資額	10,000千円	—		—
市出資割合	100.0%	—		—	—
設立目的等	「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき、公共用地及び公用地等の取得、造成、管理、処分等を行うことにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与することを目的とする。				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公有地取得事業</li> <li>• 篠井宅地分譲事業</li> <li>• 附帯等事業（駅西中央駐車場）</li> </ul>				
公益目的事業比率（公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員						
					正規職員等			嘱託・臨時職員等			
常勤	理事	0	0	正規職員		3	0	嘱託職員		2	1
	監事	0	0	再雇用職員（フルタイム）		0	0	再雇用職員（短時間）		0	0
非常勤	理事	10	1	派遣等職員	市	12	0	臨時職員等（アルバイト等含む）			
					市以外	0	0				
	監事	2	0	市OB職員		0	0				
計		12	1	計		15	0	計		2	1
役員の平均年齢（歳）		—		役員の平均年収（千円）		—		情報公開制度の有無		○	
職員の平均年齢（歳）		53.7		職員の平均年収（千円）		7,138		個人情報保護体制の有無		○	

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	備考
資産	7,552,981	
負債	7,116,100	
（うち損失補償等額）	6,517,000	
純資産	436,881	
（うち利益剰余金）	426,881	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	備考
総収入	153,713	
（うち市補助金等）	0	
（うち市委託料等）	0	
経常損益	42,200	
当期損益	43,060	減価償却費追加額 27年度決算 860千円

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

## Ⅱ 各項目の取組状況

### 1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度			
1	篠井ニュータウンの早期完売	年間15区画販売	年間平均10区画 (平成22~26年度)	8区画 分譲率68.4% (212区画販売済)			

### 2. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度			
2 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	公社全体の収支を踏まえた補助金の適正化	26年度決算 32,870千円	0千円			
3	駅西中央駐車場における収益確保	平成31年度決算 120,000千円	年間平均約 118,000千円 (平成22~26年度)	127,765千円			
4	篠井ニュータウンに係る販売経費の節減	平成31年度販売経費 4,096千円	平成26年度販売経費 10,240千円	8,900千円			

### 3. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度			
5 (共)	常勤役職員数の適正化	業務量に応じた組織体制	平成26年4月1日現在 プロパー3人体制	平成27年4月1日現在 プロパー3人体制			

### 4. その他

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度			
6	公社機能を多く用いられるような方策の検討	公社機能が発揮できる事業について効果的に活用されている	面的な用地取得において公社機能が活用されている	線的な用地取得を行っている他都市の情報収集及び調査			

### Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・取組項目のうち、「篠井ニュータウンの早期完売」については、やや進捗に遅れはあるが、平成27年度末までに310区画のうち212区画を販売し、販売率は68%を超え、残区画数が二桁となったことから、今後、より一層、早期完売に向け、販売促進を強化していく。</li><li>・その他の取組項目は、順調に進捗している。</li></ul> <p>【今後の課題】</p> <p>篠井ニュータウンの早期完売に向けた効果的な販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信（インターネットや広報紙などを活用した幅広い情報発信）</li><li>・魅力向上策の検討・推進（商業街区の販売促進など）</li><li>・効率的かつ効果的な販売活動の展開（販売協力会との連携強化や現地販売会の充実・強化）</li></ul>
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・取組項目のうち、「篠井ニュータウンの早期完売」については、やや進捗に遅れはある。しかし、販売率は68%を超え、残区画数は98区画となったところである。今後とも、公社を監理する所管部局として、より一層早期完売に向けた支援の充実を図っていく必要がある。</li><li>・その他の取組項目は、順調に進捗している。</li></ul> <p>【今後の課題】</p> <p>篠井ニュータウンの早期完売に向けた、より一層の支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公社が実施する各取組の支援の充実</li></ul>